

～予防接種（ワクチン）と注射部位のお話～

0歳～1歳台の赤ちゃんは大腿（ふともも）に、

2歳以上のお子さまは上腕（うで）に

当院では H28 年 1 月から、予防接種の注射部位は 2 歳未満の赤ちゃんには大腿に、2 歳以上のお子さまには今までと
おり上腕にいたします。

日本では法律で一部のワクチン以外は皮下注射が決められていますが、他の国では大腿部に筋肉注射するのが普通です。米国では、大腿部であれば小さな赤ちゃんでも片方に 3 か所くらい接種しています。日本でも、2011 年に日本小児科学会が大腿部への接種を積極的にすすめる声明を出し、2012 年に承認され、同学会から医師や自治体向けの「予防接種ガイドライン」に大腿部接種がイラスト付きで推奨されています。

大腿部推奨の理由は、痛みが少ないこと、同時接種は場所を 2・5 cm 間隔あけるために面積の広い大腿が適しているからです。

「世界標準」「腕より痛くない」「接種部位が広くて同時接種に適している」ことから、当院でも、ワクチンの種類・本数に関係なく大腿部に統一いたします。親御さんに「からだを両腕をしっかりとおさえて抱っこ」していただければ、簡単に安全にできます。

待合室で、【0～1歳台の赤ちゃんはふともも】【2歳以上のお子さまはうで（上腕）】に接種できるように、あらかじめ準備をしていただければ、お待たせする時間が短くなります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ご質問などありましたら、気軽に医師に声をお掛けください。



からだを両腕をしっかりとおさえて
抱いてあげましょう